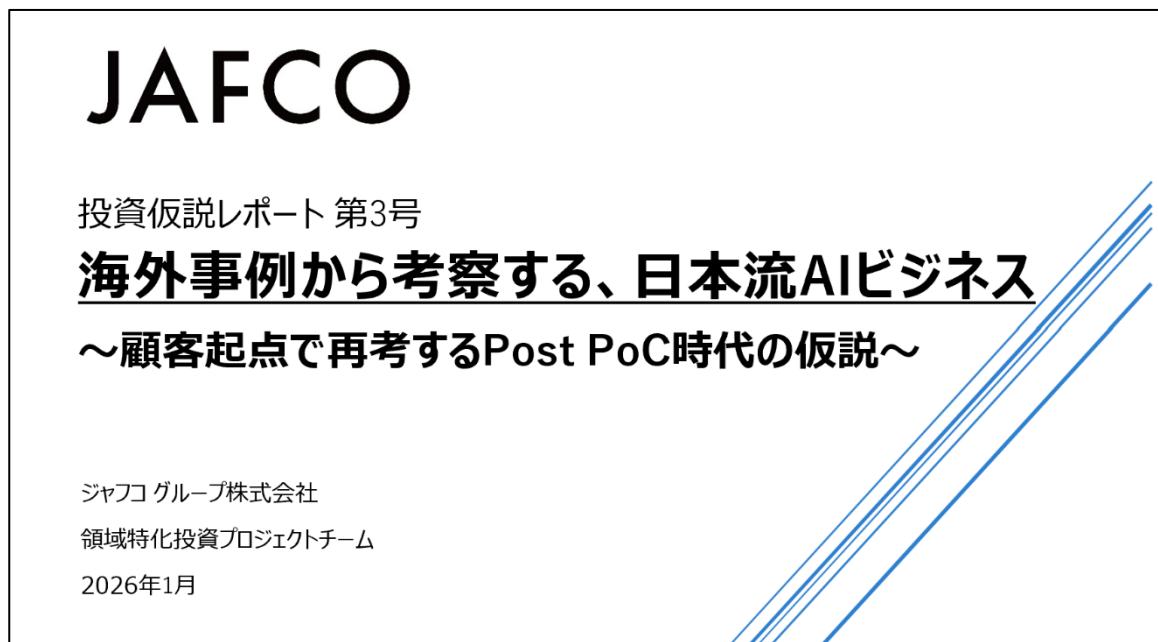


## **ジャフコ、投資仮説レポート 「海外事例から考察する、日本流 AI ビジネス」を公開**

—顧客起点で再考する Post PoC 時代の 4 つの戦略を提示—

ジャフコ グループ株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：三好啓介、以下ジャフコ）は、キャピタリストが独自に分析・執筆した、AI 領域における投資仮説レポート第 3 号を公開しました。【レポート全文はこちら】 <https://www.jafco.co.jp/andjafco-post/2026-01-27>



### **■レポート作成の背景**

2025 年、AI 技術はインフラ・モデルレイヤーを中心に急速に進化を遂げました。一方で、多くの企業における AI 活用は単一タスクの改善や PoC 段階に留まっており、成果が見えづらいのが現状です。そのため今後は、表面的な「利用率」よりも、実質的な「業務への浸透度」や「投資対効果（ROI）」が重視されると考えられます。

こうした環境変化を踏まえ、本レポートでは「どの顧客に、何の価値を、どの形で提供するのか」という顧客起点の視点から、AI スタートアップが選択すべき戦略を再整理しました。これを共通言語として起業家の皆様と対話を重ね、共に仮説を磨き込み、新たな市場を切り拓く投資機会の創出を目指しています。

< 本件に関する問い合わせ先 >

ジャフコ グループ株式会社 pr@jafco.co.jp

## ■レポートの主な内容

本レポートでは、海外の先進事例をもとに、Post PoC 時代における AI ビジネスの方向性として、以下の 4 つの戦略を仮説として提示しています。あわせて、日本市場において各モデルを展開する際に求められるケイパビリティ（組織能力）や、事業設計上の論点を整理しています。

### 顧客×提供価値で見た AIビジネスの方向性

1.優れた実装力を売る	2.結果を売る	3.高度な機能を売る	4.直感的な体験を売る
顧客の深部に入り込み、戦略策定から現場へのAI実装・運用まで伴走する	AIの特性を生かし、成果物の数や、課題解決に応じて収益を得る	自らAIを活用して開発や制作へ取組むプロシューマーへ機能的価値を訴求する	プロンプトレスなUI/UXで、リテラシーを問わずに圧倒的な便利さを提供する

## ■ レポート概要

- ・ タイトル：海外事例から考察する、日本流 AI ビジネス～顧客起点で再考する Post PoC 時代の仮説～
- ・ 発行：ジャフコ グループ株式会社
- ・ 著者：上岡 博雄、堀ノ内 友馬（領域特化投資プロジェクトチーム）
- ・ 公開日：2026 年 1 月 27 日
- ・ URL：<https://www.jafco.co.jp/andjafco-post/2026-01-27>

### <ジャフコ グループについて>

ジャフコは、1973 年の設立以来、常に時代をリードする起業家とともに歩んできました。国内外における運用ファンドの出資約束金額は累計で 1 兆円を超え、累計上場社数も 1,000 社以上にのぼります。ベンチャー投資に加えてバイアウト投資も展開しており、パーパスとして「挑戦への投資で、成長への循環をつくりだす」を掲げ、革新的な技術・サービスの創造にコミットしています。起業家のいちばん近くにあって、その「志」を実現したいという想いのもと、HR、マーケティング・セールス、バックオフィスなども支援しています。

社名：ジャフコ グループ株式会社/英文：JAFCO Group Co., Ltd.  
取締役社長：三好 啓介  
Web：<https://www.jafco.co.jp/>  
本社所在地：東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー24 階  
設立年月日：1973 年 4 月 5 日

<本件に関する問い合わせ先>

ジャフコ グループ株式会社 pr@jafco.co.jp

資本金 : 33,251 百万円  
株式上場市場 : 東証プライム市場  
従業員数 : 131 名（単体）（2025 年 3 月末現在）